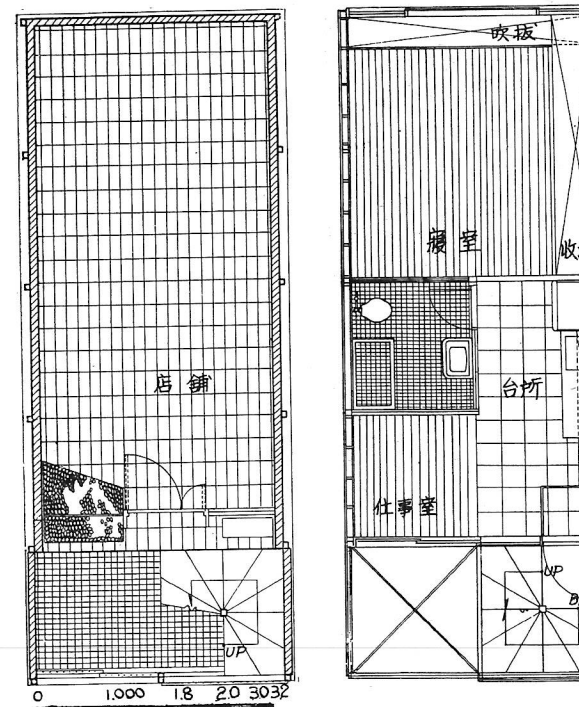




SH-31

Steel House No. 31
by K. Hirose, Architect

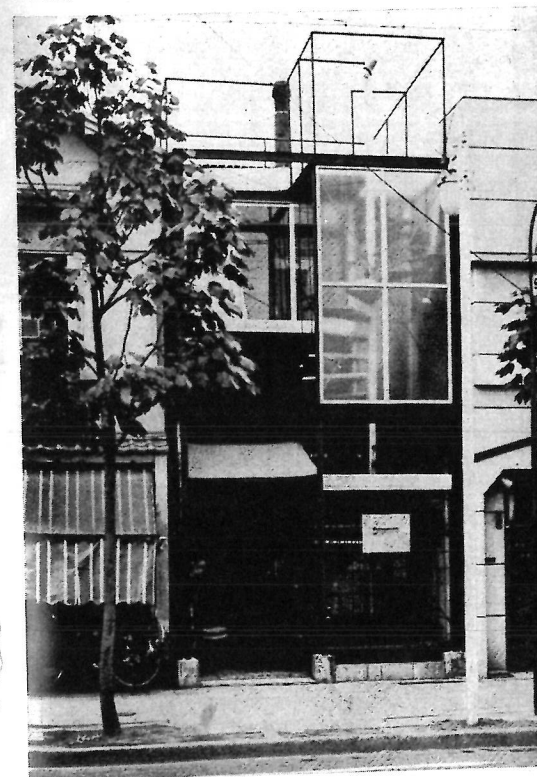
担当 鈴木伸一
施工 山口工務店



1階

2階

正面全景 Facing the street



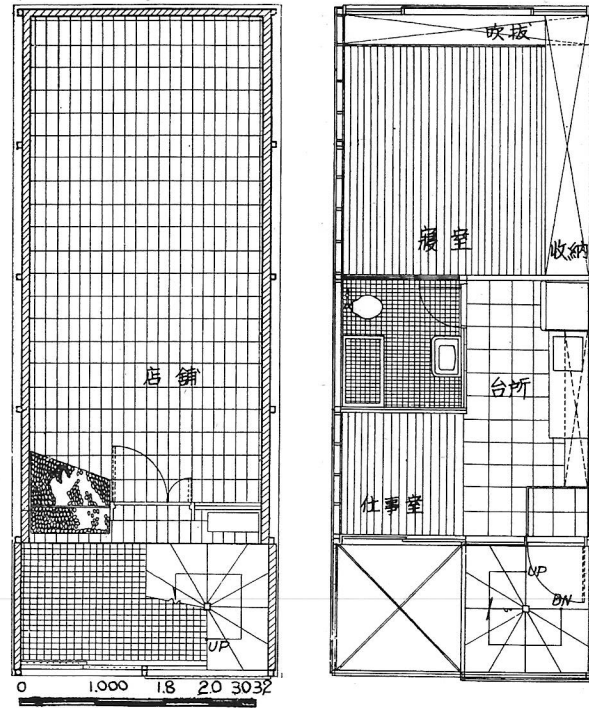
撮影 平山忠治

やがて都市計画で前面道路が拡張されることを考慮し、店舗としては約2,000建物がバックしているが、この扉とも門ともいえないものは店の延長で階段とここに置かれて家具、置物等が店に開放感をあたえ、苦しい建ぺい率を解決するものとする。なお格子戸は右側に引込まれ夜間の戸締となる。

SH-31

Steel House No. 31
by K. Hirose, Architect

担当 鈴木伸一
施工 山口工務店



1階

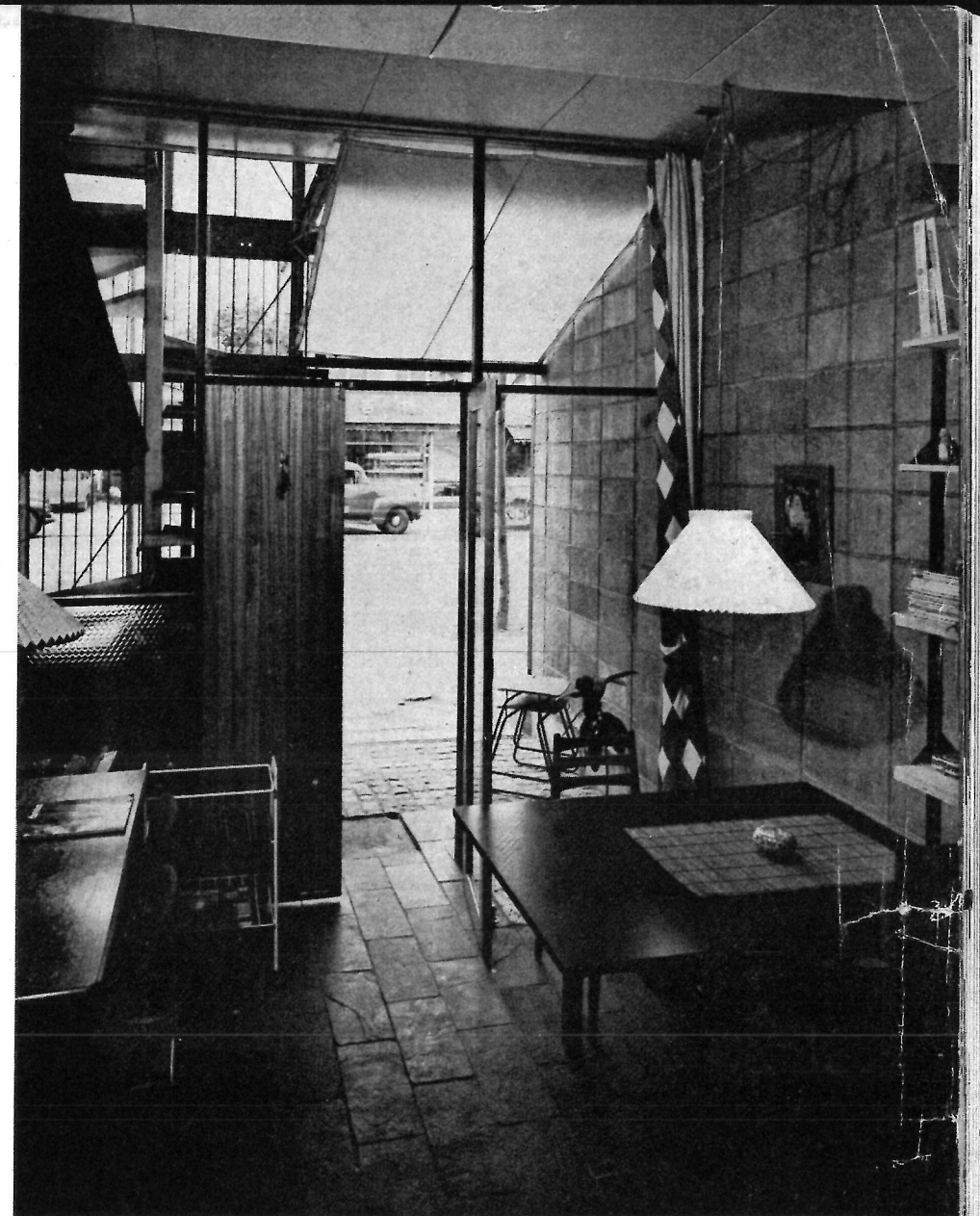
2階

正面全景 Facing the street



撮影 平山忠治

やがて都市計画で前面道路が拡張されることを考慮し店舗としては約2,000建物がバツクしているが この狭とも門ともいえぬものは店の延長で階段とここに置かれて家具 置物等が 店に開放感をあたえ 苦しい建ぺい率を解決するものと考え。なお格子戸は右側に引込まれ夜間の戸締りとなる。



1階店舗入口をみる shopping room on 1st flr.

青山の電車通り 1階に店舗を持ち 2階が住居部分の夫婦二人の生活。銀座に限らず市街地では土一升 金一升と地価の暴騰。極力敷地一パイに建物を建てたいと思うのは人情……

まして狭い敷地において オヤ である。

8坪の建坪の中にしめる 階段のスペースの比はこの際 あまりにも大きい。1階の店舗と2階とは仕事と生活 まつたく 性質を別にするもの むしろ切り離しが望ましく 階段を建物の外に設け これは屋内物干まで延び 階から通勤すると云うことにし クラフトマンショップのアクセサリともなっている。

又隣接家屋との関係 工期の短縮と経済性をふくめて 富士波長尺鉄板 ブロック等 工程の単純化と 総て内側より施工が出来るものとし 2階の通風 採光には特に1800×900の天窗を4箇所とり (内1箇所は浴室便所) かなり効果を上げた様に思える。



台所より居間を見る kitchen and living-room

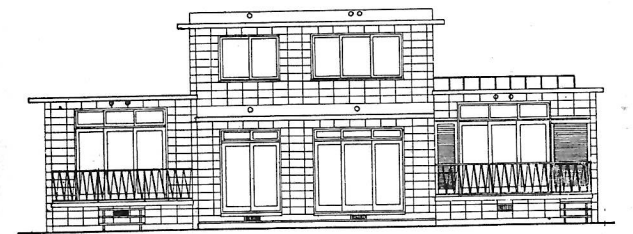
Tさんの住い

設計施工 小野田ブロック株式会社東京工場

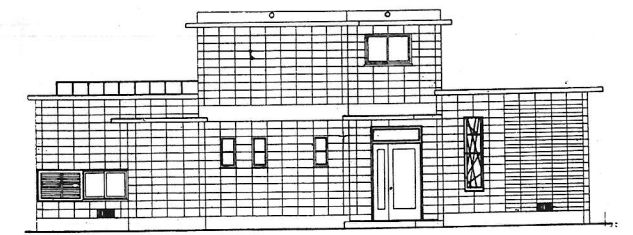
京王線桜上水駅近く 桜並木に沿った閑静な住宅街にある。この敷地は美術評論家である御主人と夫人それに小学生の御子息二人と云う御家族の為の住宅を計画するには 理想的な場所である。

設計に当っては 御主人の御意向に沿って 敷地内にある自然の樹木を出来る丈多く残して 調和を崩さない様に。プランについては 始終御相談しながら 補強ブロック構造としての合理性に心掛けた。とかくブロック住宅の設計に於ては木造建築の平面計画をそのまま ブロック造りに取換えただけの場合が多い様であるが 本来 補強ブロック造建築は根本的に木造建築とは 構造の異なるものであるから補強壁の配置について合理性を要求されるべきである。現在の限られた型状寸法によるブロックで組合せるブロック造において化粧積みにする事は設計の困難 煩雑を増加する様に考えられるが あえて 化粧積みを推定したのは 単に経済的 感覚的理由だけでなく設計上必然的に構造の合理性を取入れる事となり 施工面に於ける正確な組積は優秀な職人を要求しブロックの最大の欠点である施工上の不安を取り除く事が出来る為である。

次に当然問題になる防水耐湿性については 小野田防水ブロックを使用する事に依り完全に解決した。ブロック建築としての特性がこの設計に於て少しでも生かす事が出来たのは 施主の深い御理解に依るものと感謝すると同時にこれを施工した。松村工務店の御努力も合せて感謝致します。(小野田ブロック株式会社 設計主任 別役 健)



南側立面図 south elevation



北側立面図 north elevation

Residence for Mr. T. by Onoda Brick K. K.

門よ
外観
app
to
-